

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 10 月 4 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25245019

研究課題名(和文) 公共政策の総論的分析

研究課題名(英文) Analysis of Public Policies from Horizontal Anglesyou

研究代表者

真淵 勝 (Mabuchi, Masaru)

京都大学・法学(政治学)研究科(研究院)・教授

研究者番号：70165934

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 35,000,000円

研究成果の概要(和文)：公共政策を政策分野、すなわち環境政策、金融政策、教育政策などを横断する視点、すなわち時間、空間、知識と技術、目標と成果、政策類型などの観点から分析することによって、公共政策論を学問体系として確立するとともに、政策分野を越えた相互学習できることを目指した。

たとえば空間という観点から、都市の風格を測定する視点を獲得し、地方都市の風格を測定・比較する研究書を出版した。

目標と成果という観点からは、政策を政策的成功 - 政策的失敗、政治的成功 - 政治的失敗という視点を獲得した。

研究成果の概要(英文)：By analyzing various public policies from the horizontal angles such as time, space, knowledge and technology, goals and outcomes, policy types, etc., which are different traditional and vertical angles such as environmental policy, monetary policy, education policy, etc., we attempt to establish a public policy study as an integrated discipline as well as to learn each other among other policy areas.

For example, from the point of view of space, we got the point of view to measure the style(hukaku) of the city, was published a monograph to measure and compare the local cities.

From the viewpoint of goals and outcomes, we got the point of view of "political success - policy failures" and "political success - political failure".

研究分野：行政学

キーワード：都市 政府間関係 政策波及 実践知 政策成功 政治的失敗

1. 研究開始当初の背景

公共政策研究は「教育政策」「福祉政策」など縦割りに行われた。すなわち、各論のみが存在した。公共政策研究は学際的なままにとどまっていた。

2. 研究の目的

このような状況に鑑み、縦割りの政策分野を横断すべく、「知と技術」「空間」「時間」「類型」および「目標と成果」という横割りの観点から研究することで、公共政策研究の総論を確立する糸口をつかもうとした。

3. 研究の方法

「知と技術班」は理論研究、ケーススタディのための文献研究、現役官僚へのインタビューなどを実施した。

「空間班」はアグリゲートデータの分析、研究対象都市への実地調査と関連資料の分析などを行った。

「時間班」は事例研究を行った。

「類型班」は理論研究を行った。

「目標と成果班」は事例研究を行った。

4. 研究成果

「知と技術班」は政策決定過程における専門知の役割について研究を進めた。まず先行研究を検討し、専門知として、経済学などの学問知と、政策当局の経験知（現場知）とがあり、後者には過去の経験や海外の経験に基づく知識のほか、職場での勤務を通じて得られる技能などが含まれること、また近年の研究では官僚の専門知として、政策に関する専門知識よりも政策決定過程を管理する技術の方が重要視される傾向にあることを確認した。次に、実際の政策決定における学問知と経験知（現場知）との関係について、政策決定に際して経済学という学問知の影響がきわめて強い政策領域と考えられる金融政策を対象として検討を行った。1990年代以降の日本における金融政策の決定について検討を行った結果、経済学という学問知によってしても唯一の政策が導かれるわけではなく、複数の政策が提示されうること、また実際には政策当局の経験知（現場知）に基づく政策が採用されることが多いことが明らかとなり、公共政策決定における経験知（現場知）の重要性が確認された。

「空間班」は、都市の風格の形成要素の解

明、地方議会引用地名による政策学習の前提となる「空間」の試行的検証、議会基本条例制定の背景における政策波及の可能性の指摘、英国政府間関係の財政調整制度と地方税改革の検証、国の地方機関に関する自治法規定の役割の解明を行った。

「時間班」は、日本の政治発展の中で時間の要素が政策や制度に与える影響について調査研究を行った。佐々田は農業担い手政策、秋吉貴雄は会計検査制度の形成・進化の研究を行った。西岡は社会の規範形成に政策が寄与する可能性を、北山は市町村の総合行政体制への過程を研究した。

「時間班」は、日本の政治発展の中で時間の要素が政策や制度に与える影響について調査研究を行った。佐々田は農業担い手政策、秋吉貴雄は会計検査制度の形成・進化の研究を行った。西岡は社会の規範形成に政策が寄与する可能性を、北山は市町村の総合行政体制への過程を研究した。

「類型班」は、内生性の陥穽に囚われて足踏みをしたということがあるので、類型を独立変数とするこだわりを捨てて、政策分類自体を精緻化する方向に進んでおり、われわれもこの方向をとった。重要な共通のキーワードはイシュー・セイリアンスである。

「目標と成果班」は、事例を政治的成功・失敗と政策的成功・失敗に分け、その要因を分析した。そのため、再選、法案通過、非難回避を政治的成功と失敗を区別する基準とする。他方、政策が到達した「帰結」と法案の通過を政策的成功と失敗の基準とする。分析対象の事例は以下の通りである。政治的・政策的成功の事例として、SO₂とゴミ減量施策などを、政治的には成功したものの政策的に失敗した事例としてクリントン政権の医療保険改革を分析した。その反面、CO₂削減政策は両方失敗した事例であり、オバマ政権の医療保険改革と乳児家

庭全戸訪問事業を分析した。

5. 主な発表論文等

〔研究論文〕(計 23 件)

- 上川龍之進「原発の政治学 福島第一原発事故発生以前における東京電力の政治権力・経済権力(1)」『阪大法学』65 巻 2 号、2015、103-142
- 上川龍之進「専門知と金融政策 公共政策形成における学問知と経験知(1)」『阪大法学』65 巻 3 号、2015、65-100
- 上川龍之進「専門知と金融政策 公共政策形成における学問知と経験知(2)」『阪大法学』65 巻 4 号、2015、33-79
- 上川龍之進「専門知と金融政策 公共政策形成における学問知と経験知(3)」『阪大法学』65 巻 5 号、2016、47-94
- 上川龍之進「専門知と金融政策 公共政策形成における学問知と経験知(4・完)」『阪大法学』65 巻 6 号、2016、25-54
- Sasada, Hironori. The 'Third Arrow' or Friendly Fire? The LDP Government's Reform Plan for the Japanese Agricultural Co-op *Japanese Political Economy* 41、2015、1-22.
- 秋吉貴雄「時間のなかの会計検査制度：異質な制度進化の歴史分析」法学新報 95、2016、1-26
- 西岡晋「政策発展論のアプローチ：政策の長期的時間構造と政治的效果」縣公一郎・藤井浩司編『ダイバーシティの行政学』早稲田大学出版部、近刊
- 北山俊哉、「能力ある地方政府による総合行政体制」『法と政治』66、2015、59-89
- 京俊介「イシュー・セイリアンスの測定：刑事政策を事例にして」『中京法学』50 巻 2 号、2015、1-61
- 京俊介「著作権法改正の比較政治学：日・米・EU の著作権法をめぐる政治過程分析の比較」『中京法学』50 巻 3・4 号、2016、1-48
- 南京兌、2015「幸福を計測する公共政策」、『法学論叢』、(査読あり)、176 巻 5・6

号、328-347 頁

中村悦大「分配政治のモデル I：対象の操作」、『愛媛法学会雑誌』、42 巻 1 号、2015、101-124 頁

松本俊太「医療制度改革において大統領は重要か?：ビル・クリントンとバラク・オバマの比較」、『名城法学』、65 巻 1・2 号、2015、193-222

松並潤「地方議員の議会発言に見る政策移転のパターン」『国際協力論集』23 巻 2 号、2016、135-143

芦立秀朗「地方議会改革と議会基本条例：自治基本条例との関係から」『京都産業大学世界問題研究所紀要』1 巻、2016、1-14 頁

稲澤克祐「英国における財政調整制度改革の概要と評価 - 2006 年度改革と 2013 年度ビジネスレイトの再地方税化を中心に - 」『商学論究』63 巻 3 号、2016、259-279

小西敦「地方機関国会承認規定(地方自治法 156 条 4 項及び 5 項)はどのような機能を果たしたか(1)」『自治研究』、91 巻 12 号、2015、76-100

小西敦「地方機関国会承認規定(地方自治法 156 条 4 項及び 5 項)はどのような機能を果たしたか(2)」『自治研究』92 巻 1 号、2016、69-92 頁

小西敦「地方機関国会承認規定(地方自治法 156 条 4 項及び 5 項)はどのような機能を果たしたか(3・完)」『自治研究』92 巻 3 号、2016、39-59

① 中村仁「社会的・技術的变化とコンフリクト」社会・経済システム学会第 34 回大会予稿集、2015、29 - 32

② 中村仁「戦後復興からの渋谷地域の商業集積の背景と実態に関する考察」『社会・経済システム』、2015、61 - 68

③ 田中秀幸、出口弘、中村仁、小山友介、中野邦彦、加瀬郁子「都市の企業集積の多元的側面を探索するフィールドワーク型ワークシ

ヨップの実践とその評価：秋葉原での事例研究」日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2013 年秋号 40-43〔学会発表〕(計 4 件)

京俊介「刑事政策の政治学的分析：少年法『厳罰化』とイシュー・セイリアンス」日本政治学会 2014 年度研究大会 2014 年 10 月 12 日早稲田大学

KYO, Shunsuke "Issue Salience and 'Penal Populism': Juvenile Lawmaking Process in Japan" Western Political Science Association 2015 Annual Meeting 2015 年 4 月 4 日 Caesars Palace Hotel, Las Vegas, NV, U.S.

京俊介「イシュー・セイリアンスの測定：刑事政策を事例にして」日本行政学会 2015 年度研究会 2015 年 5 月 9 日沖縄県男女共同参画センター ているる

Nakamura, Etsuhiro. 2016. Testing Theories of Distributive Politics -Governors under the Dominant Party Regime in Japan. 2016 Annual Conference of Southern Political Science Association. San Juan, Puerto Rico.

〔図書〕(計 4 件)

真淵勝『風格の地方都市』慈学社、2014
佐藤満『厚生労働省の政策過程分析』慈学社、2014

秋月謙吾・南京兌編『地方分権の国際比較：その原因と中央地方間の権力関係の変化』、慈学社、2016

中村仁『クリエイティブ産業に関する商業集積の形成過程に関する考察 渋谷地域と秋葉原地域』慈学社、2016

6. 研究組織

(1) 研究代表者

真淵 勝(MABUCHI, Masaru)
立命館大学・政策科学部・教授
研究者番号：70165934

(2) 研究分担者

佐藤 満(SATOH, Mitsuru)
立命館大学・政策科学部・教授
研究者番号：00187246

北山 俊哉(KITAYAMA, Toshiya)
関西学院大学・法学部・教授
研究者番号：90214824

小西 敦(KONISHI, Atsushi)
京都大学・公共政策大学院・特別教授
研究者番号：10431884

南 京兌(NAM, Kyonte)
京都大学・法学研究科・教授
研究者番号：70275460

原田 久(HARADA, Hisashi)
立教大学・法学部・教授
研究者番号：70275460

松並 潤(MATSUNAMI, Jun)
神戸大学・国際協力研究科・教授
研究者番号：40346656

上川 龍之進(KAMIKAWA, Ryunoshin)
大阪大学・法学研究科・准教授
研究者番号：40346656

藤井 禎介(FUJII, Sadasuke)
立命館大学・政策科学部・准教授
研究者番号：70350931

手塚 洋輔(TEDSUKA, Tosuke)
大阪市立大学・法学部・准教授
研究者番号：60376671

西岡 晋(GNISHIOKA, Susumu)
東北大学・公共政策大学院・教授
研究者番号：20506919

秋吉 貴雄(AKIYOSHI, Takao)
中央大学・法学部・教授
研究者番号：50332862

京 俊介(KYO, Shunsuke)
中京大学・法学部・准教授
研究者番号：80609222

稲沢 克祐(INAZAWA, Katsuhiro)
関西学院大学・法学部・教授
研究者番号：70340411

佐々田 博教(SASADA, Hironori)
北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・准教授
研究者番号：9055110

中村 悦大(NAKAMURA, Etsuhiro)

愛知学院大学・総合政策学部・准教授
研究者番号：10432783

中村 仁 (NAKAMURA, Jin)
日本経済大学・大学院経営学研究科・准教授
研究者番号：50435252

芦立 秀朗 (ASHIDATE, Hideaki)
京都産業大学・法学部・准教授
研究者番号：00387995

松本 俊太 (MATSUMOTO, Shunta)
名城大学・法学部・准教授
研究者番号：90424944